

## 【本学会設立の趣旨】

高齢者や障がい者およびその家族が住み慣れた地域において継続して生活できるよう、保健・医療の分野から、主として生活支援の視点で学術的・実践的活動を行う。対象は高齢者・障がい者・障がい児を含むあらゆる地域住民とし、地域理学療法の普及と発展に寄与することを目的とする。

## 【主な学術領域】

1. 老年学を基盤とする領域  
加齢、高齢者に対する機能評価と理学療法、介護予防、転倒予防等を含む
2. 保健活動を基盤とする領域  
健康増進、生活習慣病予防、高齢者および女性の健康管理、集団評価と健康づくりのためのシステム構築等を含む
3. 在宅支援領域  
訪問（訪問リハ、介護者支援または負担軽減を含む）  
通所（通所型リハ）  
施設（施設を生活の場とする慢性期・維持期リハ）  
就労・就学・社会参加（就学・就労支援、スポーツ活動、権利擁護、アドボカシー）  
制度（医療・介護・福祉制度、地域包括ケアシステムでの活動）  
生活環境整備（住環境の評価・整備、福祉用具、まちづくり政策形成）

日本地域理学療法学会ホームページより抜粋

## 日本地域理学療法学会運営幹事

- ◎浅川 康吉（首都大学東京）  
池添 冬芽（京都大学大学院）  
井上 和久（埼玉県立大学）  
大垣 昌之（愛仁会リハビリテーション病院）  
河添 竜志郎（株式会社 くますま）  
桑山 浩明（介護老人保健施設 ローランド）  
栄 健一郎（適寿リハビリテーション病院）  
鈴木 英樹（北のくらしと地域ケア研究所）  
隆島 研吾（神奈川県立保健福祉大学）  
田中 康之（千葉県千葉リハビリテーションセンター）  
樋口 由美（大阪府立大学）  
平野 康之（東都大学）  
牧迫 飛雄馬（鹿児島大学）  
渡邊 勸（介護老人保健施設 桜の郷敬愛の杜）

◎は代表運営幹事

五十音順

2019年12月現在

# 地域理学療法学

- 定義（学会原案）
- 実践領域

2019年12月

日本理学療法士学会分科学会  
日本地域理学療法学会

日本地域理学療法学会ホームページ  
<http://jspt.japanpt.or.jp/jsccpt/>

# 地域理学療法学 定義

(学会原案)

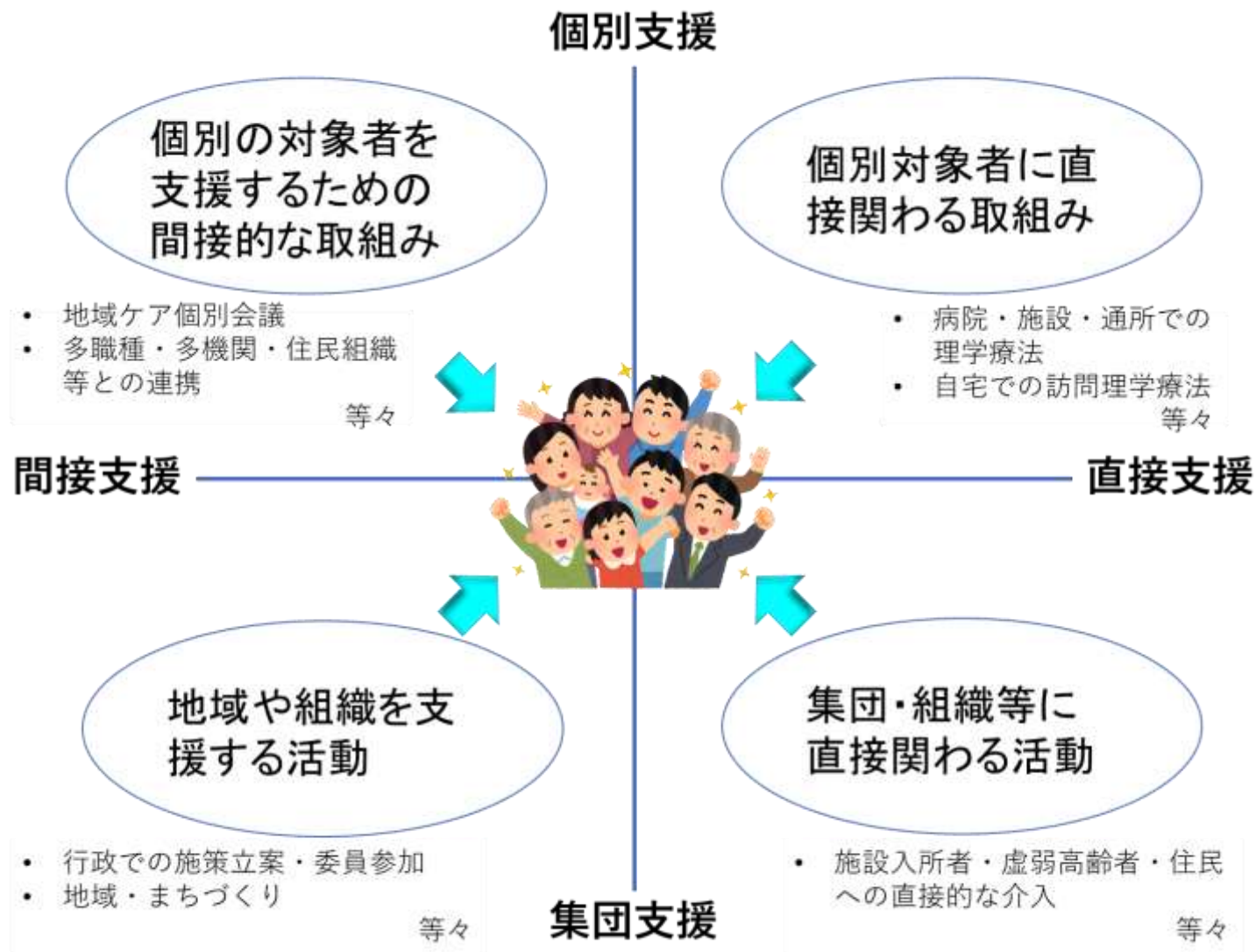
地域理学療法学とは、動作や活動への多面的な働きかけにより人々が地域でのくらしを主体的につくりあげられるよう探究する学問。



地域理学療法学のイメージ図

# 地域理学療法学 実践領域

(多面的な働きかけ)



地域理学療法学では、個別理学療法に加え、互助・自助へ繋がるまでのフォローアップ、仕掛けの効果検証などを推進